

# 第2期丹（まごころ）の里創生総合戦略によるポストコロナ社会の人口減少対策（案）

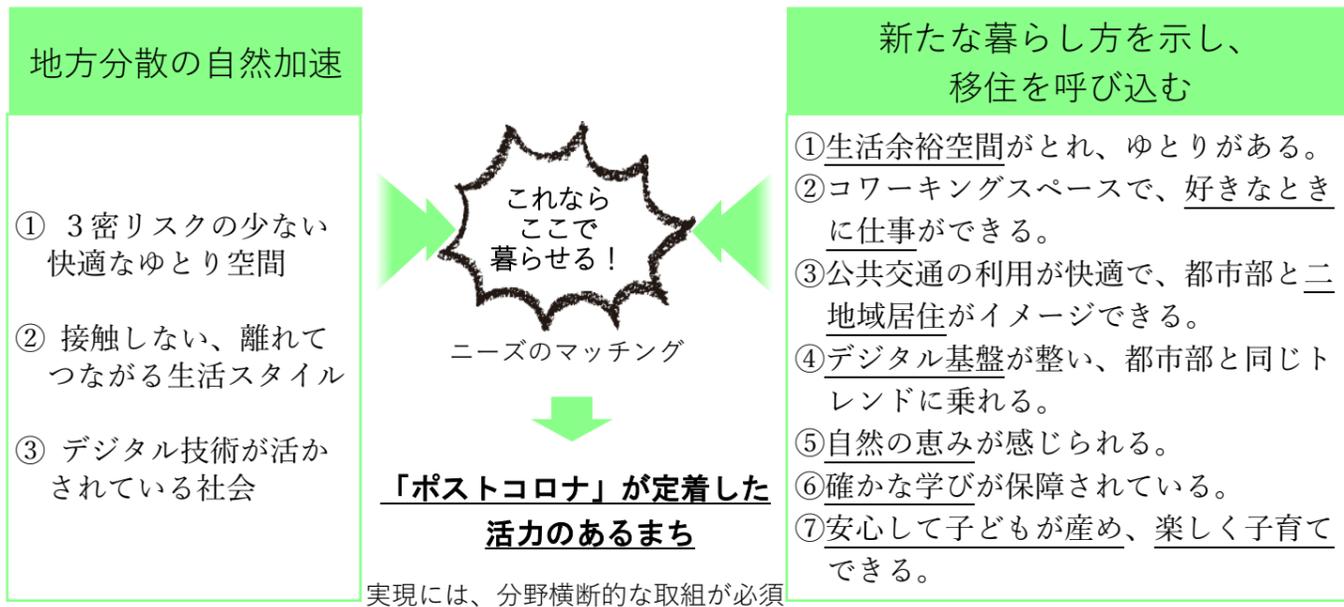
## ■ ポストコロナ社会と創生総合戦略の関係

新型コロナウイルス感染症の脅威は、市民の命と健康を脅かし、「ひと」の流れを止め、人々から「しごと」を奪い、「まち」の活力を失わせています。これからは、命・健康と経済の両立に向け、新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐ「新しい生活様式」を実践していく必要があります。これは、新型コロナウイルスと共生する「新しい日常」の常態化=ポストコロナ社会と呼ばれます。

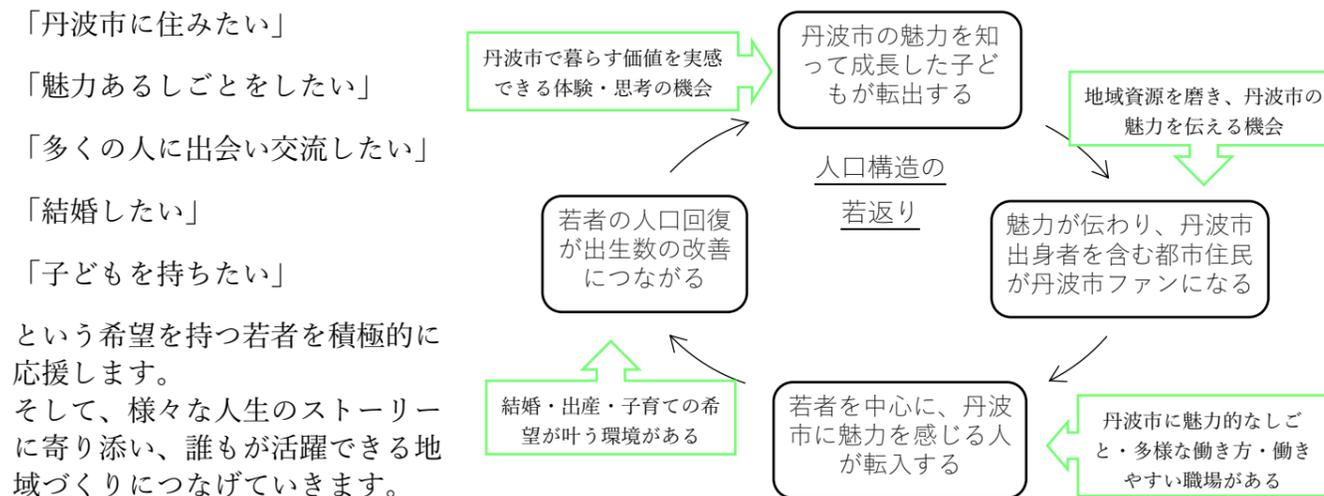
人口・都市機能が集積した都市部は、感染拡大リスクが大きく、大規模自然災害のリスクを回避するためにも、都市部から地方への分散の流れが加速すると見込まれます。

丹波市では、この地方分散の受け皿となるよう、ポストコロナ社会の視点を創生総合戦略に盛り込み、人口減少対策と地方創生につなげていく考えです。

## ■ ポストコロナ社会のトレンド



## ■ 丹波市がめざす人口減少対策とは — 第2期創生総合戦略より —



## ■ 選ばれるまち丹波市に向けた取組

### 基本目標1 希望が叶い、みんなで子育てを応援するまちをつくる

| 目標 | 合計特殊出生率<br>1.66 (H30) → 1.80 (R6) |
|----|-----------------------------------|
|----|-----------------------------------|

子育て支援

施策1-1 結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる  
施策1-2 みんなで子育てを応援するまちをつくる

安心して産める産前産後サポートの充実

安心して遊べ、丹波市で暮らす豊かさが感じられる公園

### 基本目標2 魅力的なしごと・多様な働き方・働きやすい職場をつくる

| 目標 | 25~44歳女性の就業率<br>79.4% (H30) → 82.0% (R6) |
|----|--|
|----|--|

仕事と働き方

施策2-1 魅力的なしごとをつくる  
施策2-2 多様な働き方・働きやすい職場をつくる

自然の恵みが感じられる「農のある暮らし」支援

テレワークや二地域居住、それを支える通勤支援

コロナリスクが少ない暮らしが体験できるお試し移住

### 基本目標3 地域の魅力や人のつながりを活かして、移住・定住につなげる

| 目標 | 定住意思のある市民<br>71.6% (H30) → 75.0% (R6)<br>年間観光入込客数<br>226万人 (H30) → 270万人 (R6) |
|----|---|
|----|---|

関係人口・情報発信

施策3-1 人と人のつながりをつくる  
施策3-2 地域資源の魅力を活かす

市外住民との関わりを支援する地域コンシェルジュ

離れていても、ふるさと丹波市とつながる仕組み

映像やデジタル技術を活かした地域資源の情報発信

### 基本目標4 好循環で元気なまちをつくる

| 目標 | 地域活性化を実感している市民<br>41.5% (H30) → 56.5% (R6) |
|----|--|
|----|--|

デジタル基盤

施策4-1 関係を結び、好循環を生み出す  
施策4-2 元気な地域が元気なまちをつくる

市民誰もが便利になるマイナンバーカードの活用

市内外から地域発プロジェクトや市民活動を応援する仕組み

コロナリスクが少ない暮らしの魅力を発信する人材確保

キャッシュレス決済と地域経済循環の仕組み